

# 真砂小学校区 コミュニティ協議会

コミ協だより

創刊号

平成20年3月20日

## 創刊のご挨拶



真砂小学校区コミュニティ協議会

会長 本間 信一

平成十九年四月一日政令指定都市となり区政が引かれ、私たちの住む坂井輪地区は黒埼、内野地区でまつまり西区となり、約十六万人の安心安全な住みよい街づくりを目指すことになりました。

平成十七年より校区コミュニティ協議会設立に向けて研修を重ねてまいりました。翌十八年六月に準備会を設立し、新しい形の街づくりに向けて二十九の構成団体で、地域交通安全部、地域防災防犯部、福祉部、青少年健全育成部、文化・スポーツ部、生活環境部の六つの部会を結成し、活動を開始致しました。特に地域防災防犯部はいち早く会議を重ね、真砂校区内六百余名の参加による自主防災訓練を行いました。

他の部会においても地域の環境整備、福祉活動、その他地域の発展に尽くせるよう協議を重ね活動しているところであります。

西区自治協議会委員に市長より委嘱され、五月七日の、真砂校区コミュニティ協議会総会において承認されました。真砂小学校区約四千世帯のまとめ役として地域の諸問題に取り組んでいく所存で御座いますが、幸い副会長を始め、各部部长、事務局長その他委員の皆さんは有能の方ばかりがそろっています。未熟な私です、役員、委員一同よりご協力頂き、安心安全な住みよい街づくりを目指します。皆様のご支援ご協力を賜りますことを、心よりお願い申し上げます。

## 安心・安全な街づくりを目指して

コミュニティ協議会とは？  
地域住民一人一人の自主参加により、声を掛け合い助け合い、安心で安全な街づくりを目指す会であります。  
各自治会、民生委員、交通安全協会、交通安全推進協議会、老人クラブ、スポーツ団体その他諸団体の皆さんで構成し、それぞれ部に所属し活動しています。

各自治会において 各自治会より1名以上各部会に入会して頂き、自治会、コミ協との連携が取れ行政と協働しやすい体制を作りましょう。

### 役員会

会長	本間信一	(松海が丘第4自治会)
副会長	若林彰一	(真砂2丁目自治会)
〃	高橋照雄	(松海が丘第3自治会)
監事	堀 丈二	(有明町自治会)
〃	松田勝雄	(松海が丘第3自治会)
会計部長	小林知昭	(松海が丘第1自治会)
事務局長	松沢寿重	(真砂4丁目自治会)

ご協力お願い致します。

●入会申し込みは、  
231-2479 本間、  
231-3802 松沢まで。

### 部会

青少年育成部	部長	平沢正人	副部长	松沢寿重
生活環境部	部長	若林彰一	副部长	高橋照雄
福祉部	部長	関口徳司	副部长	上坂ムツ子 内藤文作
自主防災防犯部	部長	寺井 弘	副部长	堀 丈二 中野間茂
地域交通安全部	部長	本間信一	副部长	二宮正朋
文化スポーツ部	部長		副部长	山宮恒雄

# 活動報告

## 総会、役員と委員会の開催

- 平成十九年五月七日  
総会
- ※同五月九日  
自主防災防犯部設立準備会
- ※同五月二十七日  
自主防災防犯部会設立総会
- ※六月十二日  
自主防災防犯部会委員会
- ※七月八日  
自主防災防犯部会非難訓練
- ※七月二十六日  
地域交通安全部会
- ※九月五日  
自主防災防犯部会反省会
- ※十月二十四日  
生活環境部会
- ※十月二十九日  
自主防災防犯部会
- 平成二十年一月二十六日  
役員委員会合同会議

## 自主防災防犯部

部長 寺井 弘

### 【防災部の活動に ついて】

発足当初の防災部は(石井文逸、寺井弘、堀丈二、中野間茂)の4人体制でスタートしました、まず、なにをやるべきか協議の結果、地域全体の自主防災組織を作ると言うことに決めました。



小学校区内24自治会にアンケート調査を実施、説明会を開催等、六ヶ月以上の準備期間のあと平成十九年五月十四日に自治会会員三六〇名の自主防災会を設立いたしました。

## 【防災訓練の実施に ついて】

平成十九年七月に待望の

防災訓練を実施致しました。山田区長さんのご出席も頂き、参加六〇〇余名の大盛況となり消防署員のご指導のもと熱心に人名救助の方法など体験いたしました。



## 【今後の活動について】

防災部は現在委員9名に増員となり、今後の活動テーマ、要援護者対策”について熱心に研究活動が続いています。防災は地域の力が大切です。皆で協力し助け合うことが自分の身を守ることにあります。防災に関心のある方入部をお待ちしています。

## 生活環境部

部長 若林 彰一

### 【いがた新潟海の森の集い】に参加

平成十九年九月二十二日(土)上新栄町会場で各自治会から有志の方々がボランティアで五〇名が参加し、植樹、枝打ちなどに汗を流した。海の森とは飛砂や強風を防ぐために、昔から人の手によって守り育てられた海岸林なのでこれから守っていきます。

### 【保安林問題】に取り組む

平成十九年十一月二十日(火)真砂会館に住民六〇余名の方が参加し行政より県、市の保安林担当職員との出前講座(真砂小学校裏手の通称真砂砂漠に黒松を植林しよう)を開催し、県より過去からの経過、これからの方針が報告され、これに対し活発な質疑応答、要望がなされました。

この結果、多くの地権者に積極的に働きかけ、ご協力頂けた地所から逐次植樹をしていくこと、ゴミ投棄、火災予防等車両進入禁止処置など行うことに決まりました。

今までは、真砂四丁目自治会が単独で取り組んでおりましたが、これからはコミュニティ協議会として取り組み一歩一歩前進を図っていく事になりました。又、この席には県会議員(2名)市会議員(6名)の先生方も参加されこれからの支援を約束され、強力な味方となって頂くことになりました。



### 【ゴミの減量化制度】に

取り組む

平成二十年六月よりゴミの有料化となります。各自治会から推薦された、クリーンにいがた推進委員と連絡調整を図り、違法ゴミ捨て皆無を目指し、又、古紙回収その他リサイクルに努めます。

## 地域交通安全部

部長 本間 信一

### 【真砂小学校自転車乗り方教室】

交通安全部会小針中央支部は、真砂小学校育成部と協力し、六月に一年生を対象の自転車の安全な乗り方を西警察交通課、新潟西交通安全協会のご指導で行いました。



### 【交通安全事故防止祈願餅つき大会】

十二月二日、五十嵐中学校育成協議会、新潟西安全協会共催交通安全事故防止祈願餅つき大会に参加しました。



### 【交通安全無事故活動】

真砂小学校交通安全推進協議会、新潟西交通安全協会小針浜手支部、中央支部と連携し校区内の交通安全事故防止に積極的に活動しました。

### 【国道四〇二バイパス信号機設置運動】

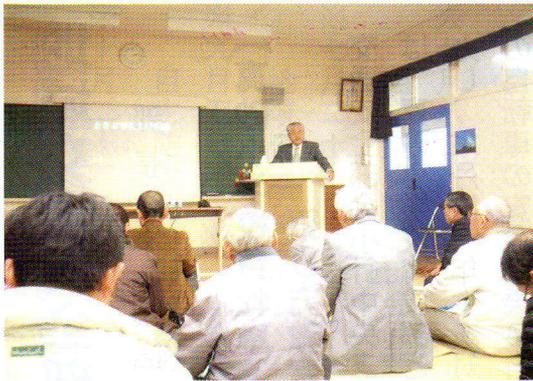
平成十九年九月八日、松海が丘四丁目地先で死亡事故が発生、地域住民の要望により信号機設置の運動を積極的に行うことにしました。



# 青少年健全育成部

部長 平沢正人  
副部長 松沢寿重

## 第一回まさご市民大学講座



講師、前大河津資料館長五百川清先生は、中学校長を定年退職後、県立歴史博物館や大河津資料館の展示設計に従事、信濃川の歴史研究、郷土史の分野で造詣が深く各方面において講演活動をされて居る方です。

真砂小学校区コミュニティ協議会と真砂小学校PTA共催により十一月二十四日真砂小学校に於いて講師として前信濃川大河津資料館長をお招きし開催されました。「もう一つの『砂丘物語』〜ふるさと発見〜わが街の歴史〜というテーマで、多くの貴重な資料

## ミュージアム探訪



「動く市政教室」のバスで2つのミュージアム・新潟市歴史博物館と新潟市美術博物館を訪ねました。博物館では丁寧な説明で新潟の歴史を学びました。美術館では、松沢寿重新潟市美術館学芸員より、(コミ協事務局長、PTA会長)日頃の研鑽に拠る解説そしてウイットに富んだ説明、楽しみながら知識を得ることが出来ました。

# 福祉部

部長 関口徳司  
副部長 上坂ムツ子

## ころばぬ先の杖

真砂小学校区コミュニティ協議会が発足し漸く、各々が活発に活動を開始いたしました。遅ればせながら協議を重ね「やらんかな」の息吹にエンジン全開となりました。少子高齢化で、大家族が消え、核家族化、独居化が進み、お年寄りをさらに孤立させる、作家山田風太郎氏は「死言状」(小学館文庫)で電話が手紙に取って代わることを実に大きな社会的実象の変化と予見した。

今インターネット、携帯電話、メールなどの情報手段の日常化は、それをはるかに上回る会話の無い時代「暴走老

## 「ほのぼの予防介護」の講演会

日時 平成二十年三月二十九日・土曜日13時30分  
会場 真砂会館2階大広間  
講師 新潟福祉医療学園勤務、看護師、介護支援専門員、生涯教育部ケアワーカー学科長